

九地整職員に対して出前授業実施

(in 国土交通省九州技術事務所)

建設産業専門団体九州地区連合会

令和4年12月2日（金）

R4.7.21 九州地方整備局長との意見交換会
 藤巻局長：どうも専門工事業の特有の課題がわかっていない

専門工事業の仕事は「知らない」を無くす

建設専門工事業講習会 時間割(案)

○受講生20名 (男性17名、女性3名)

令和4年12月2日(金)
 場所:九州技術事務所

時間	13:00	14:00	15:00	16:00
月日				
12月2日 (金)	05 ガイダンス	35 建設業の現状と課題 (専門工事業について) 《講義》 (30分) 建政部 課長補佐	05 10 施工体制について 《講義》 (30分) 企画部 課長補佐	40 50 専門工事業の課題と現状(仮) 《講義》 (30分) 九州建設躯体工事業団体連合会 安井廣志 様
			40 50 着替え 移動	50 専門工事業の職種体験 (解体、蔦、型枠予定) ※3班×30~40分で順次体験 (120分) 九州建専連
				50 着替え 解散

○講義：建設専門工事業の課題

○講師：九州建設躯体工事業団体連合会 安井会長（株式会社安井組）



受講生 の声

- ・今でも仕事が楽しいという言葉が響いた。
- ・大変興味深い話であった。
- ・若者の入社喜び、採用までの苦労がよくわかった。
- ・大変興味深い話で、もっと聞きたかった。

○酒を交わしながら次の世代へ受け継いでいきたい

自己 紹介

- ・大学は文学部演劇科（詳しくは酒を飲んだとき）
- ・生まれた時から安井組 鳶の仕事50年
- ・飯場は生活の基礎 寝食共に過ごす
- ・仕事はおもしろい、徹底してやるべき

とびの 役割

- ・仮囲い～くい打ち～コンクリート打設～解体
- ・足場の考え方、九州と首都圏の鳶土工の仕事の違い
- ・工事事故
- ・職長会の役割 現場の運営、安全対策、表彰

担い手 育成 確保

- ・毎年、数百の高校に求人票 数名の応募
- ・応募は普通高校、農業高校、工業高校はない
- ・縁故関係での採用、転職組が多い
- ・インターンシップ来てくれた高校生の採用予定。雇用活動を行っていて初めての経験。地道に時間をかけた広報活動
- ・技能実習生の雇用 言葉の壁 文字の壁
- ・建設技能労働者の減少に伴うICT,DXなどで補完しているが、一方で伝統文化を失うこともある

建設 CCUS

- ・4段階のレベルごとの最低年収の提示
- ・処遇改善のため。
- ・時間はかかるがよりよい制度に育ててほしい

○専門工事業の職種体験

- ・ 3班体制
- ・ 40分単位で実施

体験後の声

- ・ 実際に体験することで、現場の苦労と専門工事の技術のすごさを感じた。
- ・ 難しい作業を少しでも事故のないようにされていることを学ぶことができた。
- ・ 安易に出来形評価など採点できないと感じた。
- ・ 型枠工の大変さやすごさがわかった。
- ・ 職人さんの知識や知恵を体験できるよい機会となった。
- ・ 作業体験がおもしろく、あっという間に時間がすぎた。

とび・土工事業

協力企業 (株)スギヤマ
中村工業(株)



型枠大工工事業

協力企業 (株)伊佐工務店



解体工事業

協力団体 福岡県解体工事業協会



よい経験となりました！

